

平野区地域自立支援協議会（全体会議）アンケート集計

2015年5月22日 67事業所 83名参加

1. 所属されている事業所の種別に☑をつけてください（複数回答可）

居宅介護 43名 重度訪問介護 36名 行動援護 6名 同行援護 22名
 重度障害者等包括支援 1名
 療養介護 0名 生活介護 8名 短期入所 5名 共同生活援助 7名 施設入所支援 2名
 自立訓練（機能訓練） 0名 自立訓練（生活訓練） 0名 宿泊型自立訓練 0名
 就労移行支援 3名 就労継続支援A型 1名 就労継続支援B型 11名
 計画相談支援 8名 地域移行支援 1名 地域定着支援 1名
 児童発達支援 2名 医療型児童発達支援 0名 放課後等デイサービス 5名
 保育所等訪問支援 0名
 福祉型障害児入所施設 0名 医療型障害児入所施設 0名 障害児相談支援 2名
 その他 3名

2. 平野区の障害福祉に必要なとお考えのことがあればお聞かせください。

相 談 支 援	たくさんのニーズに合ったきめ細かいサービスが必要と思います。
	相談支援の窓口がまだうまく機能できていないように思う。
	勉強会で相談してほしいこと、現在利用者様に対し相談支援員さんがおられますが本人様の相談は受けてくれず本人様自身がすべて考えご自身で手配され何も動いてくれない相談員さんに何も言えず関わる私たちが動くことになるので一度利用者様に関わった以上相談員さんはもっと頑張ってあげて欲しいです。何もしてくれないのに料金だけ請求するのはおかしい。
	必要な支援、必要でない支援の見極めが必要ではないでしょうか。
	利用者から直接サービスの依頼がありました。情報（性別、連絡先、年齢、障害部位、サービス内容）を確認しようとしたら個人情報だから教えられないと言われ、男性、障害部位だけで業務に支障をきたすほどの電話回数と時間と暴言に悩まされました。中には区の協議会と思われそうですがそこから（地域包括支援センター）のようなどころから紹介にもらえる仕組みがあればある程度の情報を得やすいのではないかと思います。それ以降は直接の依頼は受けないことにして結果1名のみ介護保険の家族を担当するのみになっております。サービス事業者間の連絡が介護保険のように流れて行けばよいですが少しずつできているようです。活動（役員さん）は大変でしょうがよろしくをお願いします。

研 修	グループホームの世話人のスキルアップの為、全体研修等があればよい。
	事業所内での勉強、研修は行っているが支援員の方に障がい支援、福祉についての勉強会、研修をしていただきたいのもっと今以上に研修等を増やしてほしいです。
	障がいの特性の勉強会があれば。同じ症病名の人が集まって話ができる場があれば。
	勉強会等に参加できる機会があれば参加させていただきたいと思います。

高 齢 障 害 者	障がい福祉サービスを利用している65歳以上の高齢者に対する支援の在り方や体制づくり。地域参加の出来るようなイベントを開催してほしい。
	障がい者利用者が65歳以上で、同行援護なり移動支援を利用する際タクシー等利用した場合の中抜き等の使い分けをどうすればよいか。
	住宅型老人ホームにて入所されている65歳未満の方で障がい支援を行っています。集合住宅での協調性がなく決められた時間内での介護が出来なく困っています。今後障がいの人の支援なども勉強していきたいと思います。
	・現在、住宅型有料老人ホーム内に併設されている訪問介護事業所にて「居宅介護」も実施しています。施設としては障がい福祉サービスを利用している方は少なく、ほとんどの方が介護保険の利用です。ですが、平野区の地域包括支援システムの構築をめざしお手伝いできることはさせていただきますし色々勉強できればと考えております。よろしくお願ひします。
	65歳以上で介護保険に移行した後の連携をもう少ししてほしい。

自 立 支 援 協 議 会 へ の 意 見 ・ 感 想	各活動部会で着実に成果が上がっていると思います。収益向上の為イベント等の企画を期待しています。
	今日は偶然この会議を知る事が出来て参加できてうれしく思っています。わからないことが多いので今後交流できたらと思っています。
	協議会の課題をよくとらえておられると思いますが具体的には？予算の裏付けが必要だと思います。
	事業所種別ごとの勉強会、交流会は良いと思います。winwin出来る。連携システム、難しいとは思いますが。
	今回初めて参加させていただきました。現状では一部の事業所が中心となつてご尽力いただいておりますが縦横のつながりがスムーズになり地域で暮らす障がい者の方々が生きやすい町づくりがこの自立支援協議会でも検討していければと思います。
	研修部会の研修に参加したいと思います。すべての部会に当事者（障害者）が参加している状態がいいと思います。
	平野区地域自立支援協議会の活動が進んで行っていることがよく理解できた。ホームページ等も作成されていて、いつでも閲覧できるので事業所に戻ったら見てみたい。事業所の人手が足りないのが参加することが難しいが仕事が一段落すれば参加していきたい。
	初めて参加させていただきました。地域で触れ合える場所があればと思います。 話を前に進めること。

情報共有・情報交換	当事者の声を上げれる聞きとる事が出来る場が必要。支援者のスキルアップはもちろんそのうえでの連携の強化。区保健福祉課との現場のつながりの強化、問題意識の共有。
	ネットワーク、連携、情報共有
	情報を共有して共に学びあう場が必要だと思います。
	子どもから老人まで幅が広い施策ですので、横のつながりが大切だと思いますので色々な集まる機会を作っていただけたらと思います。
	初めて参加させていただきました。意見を交わせる場があればいいかと思います。城東区では相談と地域部会がありイベント開催も行っています。何かを一緒にやってみてもっとお互いを知る機会が増えるといいと思います。
	ボランティアや人材が確認できるシステムがあれば良いですね。
	平野区における上記各種サービスの紹介動画を作成し共有することが必要と考えられます。
	情報交換の場が増えるとありがたいと思います。
	障がい児の支援関係者（または情報共有）出来る会等あればいいと思います。
ホームページに各事業所のホームページの URL を載せてもらうことは可能ですか？事業所を見比べるのに便利だと思います。	

居宅介護・連携	平野区の独自性、地域性のある自立支援協議会運営が行えるように各事業所間の連携を作る必要と感じる。
	居宅介護事業所の協議会もあれば参加したいです。意見交換会もあれば良いと思います。
	他事業所との連携、研修会等を増やしてほしい、学校の体育館等の解放。
	各事業所同士がお互いに知り合って何かあった際に聞きあえる関係がある事。当事者部会、児童部会、ケース検討、高齢の方の介護保険との絡みの検討など。
	ヘルパーの人員不足の為、障害の方からの問い合わせに受けられず答えられないことが多い。
	居宅でサービスを行うことが難しくなった場合次の事業所を探すのが大変である、協力し合える事業所がいくつかあれば助かります。
	自分の事業所で新規の依頼があっても受ける事が出来ない場合があるので他事業所との連携が欲しい。
	各事業所ヘルパー不足と多く聞いていますし当事業所も同じです。利用者の方からのニーズに答えられない時も多々あります。その為にサービス提供可能な曜日や時間を各事業所でアップ（ホームページなどで）してもらえると助かります。
	現場レベルでは抱え込み（利用者）やカラーの違いによる対立で連携しにくい場面があるので対立等ではなく共闘できるような仕組みを構築できればと思う。本来は自身の事業所でできればよいのだが、教育、育成が難しい場合があるので平野区として福祉を支える若手を育てるような支援体制が欲しい。そこから協議会参加につながれば。
	各事業所の定員の空き状況等を一目で確認できるシステムやつーるがあると利用者様の移動や移行が円滑に進むだろうと日々考えております。実用的な内容があればホームページや協議会の周知にもつながるかと思いますのでご検討いただけるとありがたいです。
	事業所間の連携が取れるとよい。
居宅介護の方の交流とともに障がいについての勉強会の機会が欲しい。	
福祉の見通しや周囲の理解などが少ないので色々な支援が必要か。障害のヘルパー不足などが多い。居宅身体ではなく本人の体に関わるものを身体と変われば。	